



倒伏に強くマメ科牧草に負けない 早生チモシー「北見25号」

チモシーは、北海道草地56万haのうち7割(約40万ha)を占め、最も多く栽培されているイネ科牧草。

しかし、チモシーの既存品種には短所が…

●倒伏しやすい。

➡品質の低下、蒸れて裸地発生。

●再生が緩慢で、混播するマメ科牧草や雑草に負けやすい。

➡チモシーが消え、雑草と裸地発生。

「北見25号」は北見農試とホクレンの共同育成

「北見25号」を普及することで…

①生産性を向上し、②チモシーを主体として長く維持しやすい良好な植生の草地へ転換。



栽培管理がしやすく、良質粗飼料の生産性向上に大きく貢献できる。

「北見25号」の特に優れている点

1. 収量が多い。

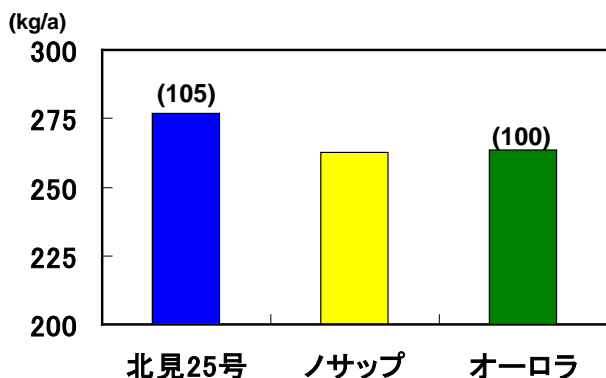


図1. 3か年(平成19~21年)合計乾物収量(kg/a). ()内はノサップ対比の指数. 系適5場所平均.

3. マメ科牧草に負けない。

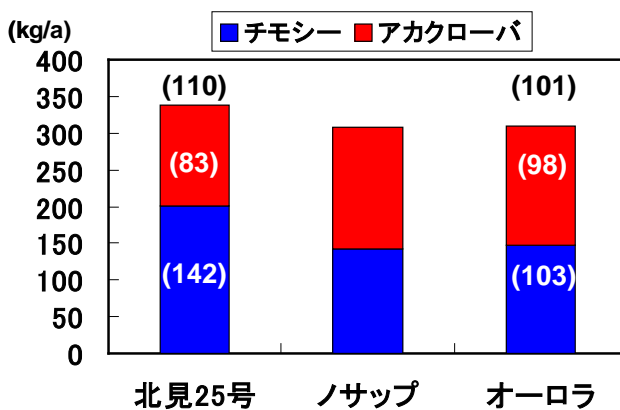


図2. アカクローバ混播条件下における3か年(平成19~21年)合計乾物収量(kg/a). ()内はノサップ対比の指数. 北見農試.

2. 倒伏に強い。



写真1. 1番草における倒伏状況. 耐倒伏性検定試験(多肥区). 北見農試.

適応地域: 北海道全域。

普及見込み面積: 83,000ha。

栽培利用上の留意点: 年間2~3回の採草利用を主体とする。耐倒伏性、混播適性は良好であるが、1番草は生育状況を観察し、収穫時期など適切な刈取り管理に努める。

北海道立北見農業試験場作物研究部牧草科
(農林水産省牧草育種指定試験地)

〒099-1496 北海道常呂郡訓子府町字弥生52

電話番号: 0157-47-2633

e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp